

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-6 居住環境づくり
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	都市計画課長 西村成人	電話番号	0852-22-5209
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	開発許可制度の運用		
目的	(1) 対象	都市の住民	
	(2) 意図	周辺の土地利用と調和の図れた良好な市街地を形成する。	
事業概要	周辺の土地利用と調和の図れた良好な市街地を形成するため、都市計画区域内での開発行為に対して、基準に適合する良好な開発行為を誘導する。また、市街化調整区域内での開発許可申請に対して、開発審査会を開催して専門的立場から申請内容を審査する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	開発許可面積	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	ha
			取組目標値					
	式・定義	年間開発許可面積	実績値	17.4				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	0	154
うち一般財源(千円)	0	154

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

新規開発許可が45件、15.91ha、変更許可が23件、1.5haあった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

重大な違反を行っている事案は無く、適切に法に基づく許可や指導ができています。
--

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <p>県で許可を行う地域の内、安来市について、県で定める開発許可基準に沿わないケースが増加傾向にある。</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>安来市には市街化調整区域があり、他の地域に比べ、法的許可基準が厳しいため。</p>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>安来市に地域の事情を考慮し緩和対策を講じることが出来る「事務処理市」として権限委譲を行う。</p>

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> 安来市に対しては権限委譲を含めた対応の検討を即す。 開発許可制度の適切な運用のため、担当者が理解しやすいようマニュアルや手引きの見直し、担当者会議等を開催する。

9. 追加評価(任意記載)

<p>・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。</p> <p>・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。</p>
